

# COME ON MIACIS

-----11月号-----



今回は 9 月に愛宕山で行われた合宿を中心になって企画してくれた教育ボランティアの大学生 2 人に、中高生スタッフの望月凜香がインタビュー！高校を卒業してもミアキスに関わっている 2 人から、どんな話が聞けるのでしょうか？

教育ボランティアは山梨大学教育学部の制度で、先生になる前に子どもたちと関わって経験を積む為の仕組み。1 単位が取得できるのでそうです。



## Q、合宿ではどんなことをしたの？

2 人：中高生と大学生が交流するために水風船や BBQ、キャンプファイヤーをしたり、自分やお互いのことを深く知るためのワークをしたりした。企画も中高生と一緒にして、当日はミアキスを卒業した大学生も 7 人来てくれたよ。

## Q、先生になったら活かそうなことはあった？

ましゅう：企画や運営は大変だったし、人前に立って指示するのは苦手だけど、どちらも先生になったら必ず必要なスキルだから経験できてよかったと思う。

## Q、なぜミアキスでボランティアしているの？

ともかず：学校では聞けない中高生の本音が聞けたり、中高生の素の姿が見られるのがいいと思った。始めは教える側という気持ちだったけど、今は自分が中高生に元気をもらいに来てる気がするな。

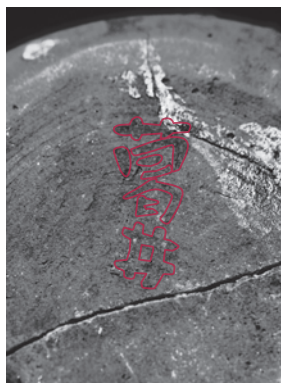
## Q、最後に、中高生に一言ください！

ともかず：自分の高校時代は勉強も部活も精一杯できたかなという疑問がある。楽しかったけど、もっと全力でやってたら自分の希望を叶えることができたのかなって思うから、何事も全力で取り組んで欲しい。

ましゅう：進路とか何か決断をするときは、最終的に自分のやりたいことを自分で決めると後悔がないと思う。

## インタビューを終えて

先生になる前ってこういうことを考えるんだなって思ったら、先生という存在を身近に感じました。普段気さくに話しかけてくれる 2 人ですが、将来について色々考えていて人生の先輩だと思いました。卒業した先輩からこういう話を聞けるのもミアキスのいいところ。私も大学生になったら自分の経験を誰かのために活かしたいです。2 人のこと大好きだから、これからもたくさんミアキスに来て欲しいなー！



藤井にはたくさんさんの地名があります。しかし、由来や付けられた時代などを証明することは容易ではありません。その中で、「藤井」という地名は、皆さんが想像しているよりも古くから使われていたことが分かってきました。中田公民館近くに広がる中田小学校遺跡で昭和 59 年に行われた発掘調査中に、墨で文字の書かれた土師器（はじき）と呼ばれる器が発見されました。その文字とは「葛井」です。今では、「葛井」は「くずい」と呼ぶほかないと思います。しかし、「葛」を「フジ」とも読むことができるのです。ちなみに、近鉄藤井寺球場の

# 土師器が伝える地名のナゾ 藤井という地名

ならさき遺産めぐり 第 28 回



あった大阪府藤井寺市には、葛井寺があり、「ふじいてら」と呼びます。また、野山に生える「葛」や「藤」はよく似たツル性の植物で、物を結んだり束ねたりするための材料として使われ、その強固なようすから「葛藤」という言葉が誕生したともいわれています。こんな背景から、「葛」も「藤」も「フジ」と呼ぶようになったのでしよう。

ということで、「葛井」は「フジ」と読むことができます。この土師器の器は平安時代に作られたものなので、少なくとも、その頃に「ふじい」が使われていたことになりました。皆さんの周りにも当たり前のように使っている地名がたくさんあると思います。そんな地名のナゾ解きを試してみようでしょうか？

なお、「葛井」の土師器は 12 月 3 日まで山梨県立博物館の企画展「文字が語る古代甲斐国」に出展中です。

文化財担当 関間 俊明